

〔科目名〕 地域 ICT 基礎論	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 基幹科目
〔担当者〕 木 暮 祐 一 Yuichi Kogure	〔オフィス・アワー〕	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 21 世紀は情報通信技術(ICT)の急速な発展と普及により、仕事のやり方から地域社会のあり方まで大きく変貌をとげつつある。とくに近年はインターネットを通じたコミュニケーションが多様化し、これが個々のコミュニケーションはもとより、社会生活にも重要な役割を果たすようになってきている。 この講義では、ICT 利活用の中でも基本となるパソコンやスマートフォンの活用、とくにソーシャルネットワーキングサービス(SNS)の活用と実践を取り入れ、その上で、情報通信技術(ICT)の進展と、情報通信ネットワークの普及によって起こっている社会の変化について理解を深め、それらを地域に役立てるための基礎力を養っていく。ICT をめぐる最新の話題も随時講義に取り入れていく。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 もはやパソコンやインターネットは社会活動において欠かせないものである。将来就職したり起業した場合に、パソコンやインターネットの活用無しには業務を遂行できない。さらに最近では SNS の活用も欠かせないものとなっている。本講義ではパソコンやスマートフォンを通じたインターネットの活用や、SNS の使いこなし、それらの上で起こりうるトラブルや対策について学ぶ。世の中から求められる情報リテラシーを身につけた上で、こうした ICT を地域社会で役立てるための力を身につけていく。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ICT とは何か、どのように使いこなしていくべきか、実際の社会でどのように利用されているのかなどを理解することを中間目標とする。そして、ICT を地域に活かすための応用力を身につけることを最終目標とする。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 講義の中で学生諸君の要望なども取り入れながら進めていく。 また、ICT は日々進化を遂げており、常に最新の話題を提供していけるように努めたい。このためシラバス通りに講義が進捗しない場合もある。		
〔教科書〕 教員作成資料を PDF 等で配布する。		
〔指定図書〕 講義の中で、必要に応じて案内する。		
〔参考書〕 講義の中で、必要に応じて案内する。		
〔前提科目〕 特になし。		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 期末試験を課す(状況に応じてレポートに代える場合がある)。このほか講義の中で小課題を課すことがある。出席状況や講義の受講態度も成績に反映させることがある。	
〔評価の基準及びスケール〕 期末試験、小課題、出席状況などを総合的に評価する。	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 パソコンやスマートフォン、そしてインターネットをしっかりと使いこなす力を身につけること。そのため、講義では積極的にパソコンやスマートフォン、インターネットを活用してください。ノートパソコン等の持ち込みを推奨します。	
〔実務経歴〕 出版業界にてメディア(媒体)の立ち上げや媒体運営(編集長)等を務め、また媒体と連動した E コマース事業の立ち上げや企業間リレーションなどに携わり、のちに情報通信業界に転籍し、大手企業の広報責任者(広報戦略、メディアリレーションなど)や、産学連携事業などを経験してきた。これらの経験を踏まえ、実践的な講義展開に努めたい。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): ネットワーク社会を考える 内 容: 講義の進め方、なぜこの講義の受講が必要なのか。情報通信技術(ICT)の進展とネットワークの活用、それによる高度情報化社会を考える。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第2回	テーマ(何を学ぶか): ICT とは何か、ICT によって何が変わったのか(1) 内 容: 情報通信技術(ICT)を理解するために、その業界全体を展望する。そして ICT が登場し 21 世紀となり、社会がどのように変化したのかを理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第3回	テーマ(何を学ぶか): ICT とは何か、ICT によって何が変わったのか(2) 内 容: 携帯電話の登場以降、通信できるデバイスをいつでも持ち歩ける環境が整ったことで、社会がどのように変化してきたのかを理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第4回	テーマ(何を学ぶか): ICT とは何か、ICT によって何が変わったのか(3) 内 容: ICT の発展、普及により、ICT 市場や ICT 経済がどのように変化してきているのかを、統計データ等を見ながら理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第5回	テーマ(何を学ぶか): 企業の情報システム活用の変遷 内 容: 企業が活動していくうえで情報システムの活用は不可欠となった。ICT の進化によって、企業の ICT 活用も変遷を遂げている。その変遷を理解し、今後の企業がどのように ICT を活用すればいいのかを理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第6回	テーマ(何を学ぶか): パソコンにおけるウィルスと不正アクセス、ネットとセキュリティ 内 容: パソコン活用やインターネットの利用におけるトラブルやリスクについて、実際に起こっている事例をもとに、その対処法について理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第7回	テーマ(何を学ぶか): インターネット活用上のリスクとトラブル 内 容: ソーシャルサービスで起こっている事故やトラブルを理解し、また自分自身がトラブルを起さないよう基礎知識を身につける。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第8回	テーマ(何を学ぶか): AI(人工知能)の利活用 内 容: AI とは何か、近年の AI ブームとは何なのかを理解したうえで、AI の活用事例や今後の方向性などを考える。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)

第9回	テーマ(何を学ぶか):プラットフォームビジネスとデジタルプラットフォーマー 内 容: プラットフォームビジネスの基本を知り、この考え方を ICT 産業に展開している事例を検証しながら、ICT 産業で成功していく方法について考察する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第10回	テーマ(何を学ぶか):ネットのビジネス利用 内 容: インターネットの商用利用はもはや欠かせないものとなったが、ビジネスにどのように活用されているのかをまずは理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第11回	テーマ(何を学ぶか):SNS のビジネス利用 内 容: 既存メディアとインターネットメディアの関係を理解し、とくにメディア的視点から SNS の活用法を考え、企業視点からの SNS マーケティングの基本を理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第12回	テーマ(何を学ぶか):情報をつなぐことの重要性 内 容: 電子的情報は伝えられ再利用されることに意義がある。わが国の情報化を振り返り、課題を明確にすると共に、電子自治体のあり方も考える。中国のデータ活用事例も理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第13回	テーマ(何を学ぶか):災害と情報伝達 内 容: 万が一の大災害時に、そうした情報をどのように市民に伝えていくのか。従来から形成されてきた防災無線からスマートフォン向け通知まで、その手段を理解する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第14回	テーマ(何を学ぶか):シリコンバレーに学ぶ企業と大学の距離 内 容: ICT 産業の聖地といえるシリコンバレーの成功は産学連携がもたらしているといえる。企業と大学がどのような関係をもつことが良いのかを学ぶ。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
第15回	テーマ(何を学ぶか):ネットの未来 内 容: ICT 業界における未来予測の難しさ、最新の ICT サービス動向とそこから広がる将来のネットワーク社会を展望する。 教科書・指定図書 資料配布(PDF)
試 験	期末課題(またはレポート)